

情報誌「燦」と一緒に  
編集してみませんか。  
興味のある人は  
ご連絡ください。

### ●男女が共に活躍できる社会を目指して

#### 「燦」とは……

燦（さん）という言葉には、「鮮やかに輝く」という意味があります。男女が性別にとらわれることなく、ひとりの人間として尊重し合い、社会の中で充実した人生を送れるように、そして社会の対等なパートナーとして活躍できるみんなが輝く社会を目指して、この情報誌をお届けします。

▶2024年、パリオリンピックにて。



©2024 Mike Lee for JRFU

「強く、美しく」という言葉は選手を引退する時に決めました。強い自分であれば、美しくいられると思います。グラウンドでの立ち姿は、見てもらう人に「強く美しい」と感じてもらいたいです。

#### 大切にしている言葉

「自分の意見を言うこと」と「キャリアを大切にすること」  
仕事、結婚、出産…私は、女性だからといって自分のやりたいキャリアをつぶしてまで、他のキャリアに進めません。まだまだやれるという思いがあるとしたらチャレンジし続けるべきだと思うし、それ以外のキャリアについては後悔しないための準備や選択肢を持つことが大切だと思います。

#### 女性活躍のために大切な2つのこと

私は目指すものがないと次のステージに行けないタイプです。そこで選手引退と同時に「やりたいことリスト」を作りました。モデル活動、コメンテーター、レフェリー留学など…。自分からどんな行動を起こし、ほぼ叶えました。

#### 新たな挑戦に向けた取り組み

私は目指すものがないと次のステージに行けないタイプです。そこで選手引退と同時に「やりたいことリスト」を作りました。モデル活動、コメンテーター、レフェリー留学など…。自分からどんな行動を起こし、ほぼ叶えました。

#### 今後の目標や夢

大学教授として教育の現場に立ちたいです。大学教授も女性が少ない分野なので、そこでチャレンジする気持ちや自分がやってきたことを伝えることをしたいです。  
あとは、ラグビー場にしかないキッチンカーを出店したいです。あのクレープを食べたいからラグビー場に行こう！という理由になるように。



#### 編集後記

多くの経験と努力、そしてラグビーへの情熱。挑戦を重ねてきたからこそ語ることができる言葉の重みに、インタビューの時間が足りない！と感じ、同時に、真摯に答えてくださる桑井さんの魅力に引き込まれました。いつか桑井さんのクレープを食べにラグビー場に行ける日を楽しみにしています。

全てに対して、  
美しい存在でありたい

## 強く、美しく



©2024 Mike Lee for JRFU

男女共同参画社会の実現のためには、誰もが性別に関係なく、自分らしい生き方を選び、その選択が認められることが大切です。

さまざまな業界で女性活躍が進む昨今。女性が少ないラグビーのレフェリーとして活躍する桑井亜乃さんに、自分の未来を切り開くすべについてお話を伺いました。

#### ラグビーを始めたきっかけ

大学生のとき、授業で初めてラグビーに触れ、卒業後に本格的にラグビーを始めました。当時のラグビー界は今ほどの盛り上がりはなく、男性ばかりの世界に「大丈夫？」と心配する友達もいましたが、最終的には「亜乃ならいけそう！」と応援してくれました。

#### レフェリーという新たな挑戦

選手として引退を考えていた時、声をかけてもらいました。「3年後のパリオリンピックにレフェリーとして参加できる可能性はあるか？」と聞いたら、「不可能ではない」と返答ももらったので、1%でも可能性があるなら、その1%に人生をもう一度かけてみるのも面白いと思いました。2021年8月の選手引退と同時にレフェリーを始め、2024年のパリオリンピックにレフェリーとして出場しました。女性が少ないレフェリーですが、選手としての経験



くわいあの 桑井 亜乃さん ラグビーレフェリー



アルカス熊谷所属ラグビーレフェリー。ラグビー界では男女含めて世界で初めて、選手とレフェリー両方でオリンピックに出場。令和6年度埼玉県荻野吟子賞受賞、令和7年度内閣府女性のチャレンジ賞受賞。2024-25シーズンから男子15人制ラグビーの国内トップリーグであるリーグワンで活躍中。

と年齢を重ねることで出てきた存在感を強みに、2024-25シーズンから男子15人制ラグビーの国内トップリーグでレフェリーを務めています。レフェリーは、試合をコントロールすることが大切です。選手の言い分に対して毅然と対応するときと、優しく指導するときを使い分け、選手と一緒に試合を作り上げていきたいと思っています。